

大寒が過ぎ、款冬華（ふきのはなさく）と言われる七十二候の一つ、露のとうがそっと雪の下から蕾みを出し始める時期となりました。

3学期に入り、学科や各部で今年度の集大成となる活動に取り組ん

でれています。生活デザイン科3年生からは、3年間の感謝を込めて「松花堂弁当」をいただきました。

「鱈の幽庵焼き」は、下味がしっかりしみており焼き加減も上出来でした、「黄身酢和え」は、黄身と酢がなめらかに調合できており海老などの具材とよくあうお味に仕上がっていました。和のデザートまでつき七品もの料理で彩りもよく、舌でも目でも楽しませてもらいました。これほどまで



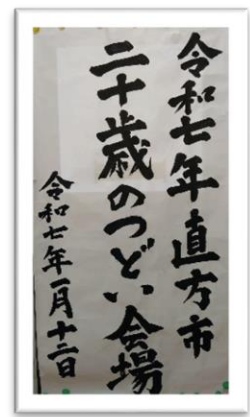
に完成度の高い懐石料理のおもてなし弁当が作れるまでに技術を身につけてくれたのだと大変感動させられたものです。

茶道部からは、初釜のご案内をいただきました。3年生にとっては最後のお点前の披露となりました。道具を丁寧に清め、一つひとつの所作に思いを込め、とても美しい動作に思わず見とれるほどでした。美味しい抹茶をいただき、何より心が落ち着き、豊かな気持ちとなれるひとときを過ごすことができ感謝しています。日本文化の一つである茶道の奥深さ、魅力に再びふれ、この空間を創り出せた生徒達のお稽古の成果をととても頼もしく思いました。



今年の「直方市二十歳のつどい」（会場：ユメニティ）の看板やお祝いのパネル

（左写真）を本校書道部、部長の金子君のリーダーシップのもと4名の部員が一字ずつ担当し、お祝いの思



いを込めて逞しい作品を創り上げてくれ大変喜ばれました。校内では、2025年のカレンダーを製作し、四季折々の挿絵（金子作）も入れ楽しめるようにと工夫してくれています。芸術的センス、表現力にも感服しました。

筑豊高校生のこれからの活躍もとても楽しみです！



<揮毫者>

- 延一柳川 瑞稀(1-4)植木中出身
- 年一白澤 凜 (1-4)香月中出身
- 転一大場 心菜(2-4)直方二中出身
- 寿一金子 善大(2-3)香月中出身

ALL CHIKUHOU  
~WELL-BEING~

生徒も教員も家族も地域も  
筑豊高校にかかわる  
すべての人を幸せに